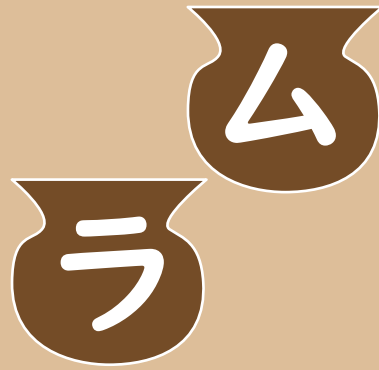




私の田んぼの下の

さいどみ
齋富遺跡

なかいけみなみ
中池南遺跡発掘調査速報展



会場
会期

赤磐市山陽郷土資料館
令和5年5月12日
～7月9日

ごあいさつ

赤磐市教育委員会では、令和元～四年度に齋富・南方地区ほ場整備事業に伴って、齋富遺跡と中池南遺跡の発掘調査を行いました。齋富遺跡は平成三・四年度に山陽自動車道の建設の際にも発掘され、三〇年を経て隣接地の調査となりました。

さて、遺跡が所在する赤磐市齋富は、砂川東岸の丘陵にはさまれた谷状地形で、現在は丘陵裾部に家並み、低地には水田が広がっています。齋富という地名になったのは新しく、江戸時代前期までは「池田村」と呼ばれていました。江戸時代、備前に入った大名池田家と同じ村名であったため、改称したと伝えられます。

このたび、古く縄文時代に始まり連綿と続く齋富の暮らしを発掘調査成果から紹介します。田んぼの地下に眠っていた地域の歴史を知ってもらおう一助となれば幸いです。発掘調査にあたってご協力くださいました各方面の皆様には厚く御礼申し上げます。

斎富遺跡と中池南遺跡

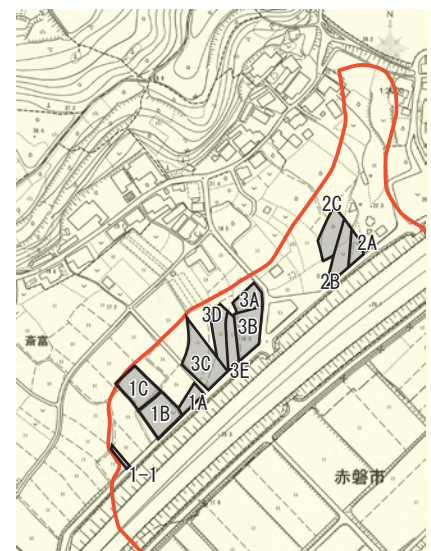
斎富遺跡は今から約 30 年前にも山陽自動車道建設の際に発掘され、縄文時代から弥生・古墳・奈良、さらに中・近世までの遺跡であることが判明しました。特に、集落が大きくなる古墳時代後半期の住居跡などから朝鮮半島に關係する遺物が出土し、渡来人との強い関わりが考えられる集落として知られることになりました。軟質（系）土器、陶質（系）土器、算盤玉形土製紡錘車などが朝鮮半島系の遺物として出土しました。これらの遺物は、岡山県古代吉備文化財センターに収蔵されています。

今回の斎富遺跡の調査区は、山陽自動車道の北西側の約 6,100 m²の範囲です。ほ場整備で遺跡が破壊されてしまう場所を事前に発掘しました。

また、斎富遺跡の北東に位置する中池南遺跡の 1,100 m²も調査しました。両遺跡は一連の地形をなし、関連性の高い遺跡と考えられます。



遺跡位置図



斎富遺跡調査区拡大図



中池南遺跡調査区拡大図



しらぎけいとうしつどき 新羅系陶質土器 (蓋) 写真提供：岡山県古代吉備文化財センター



なんしつけいどき はち 軟質系土器 (鉢) 写真提供：岡山県古代吉備文化財センター

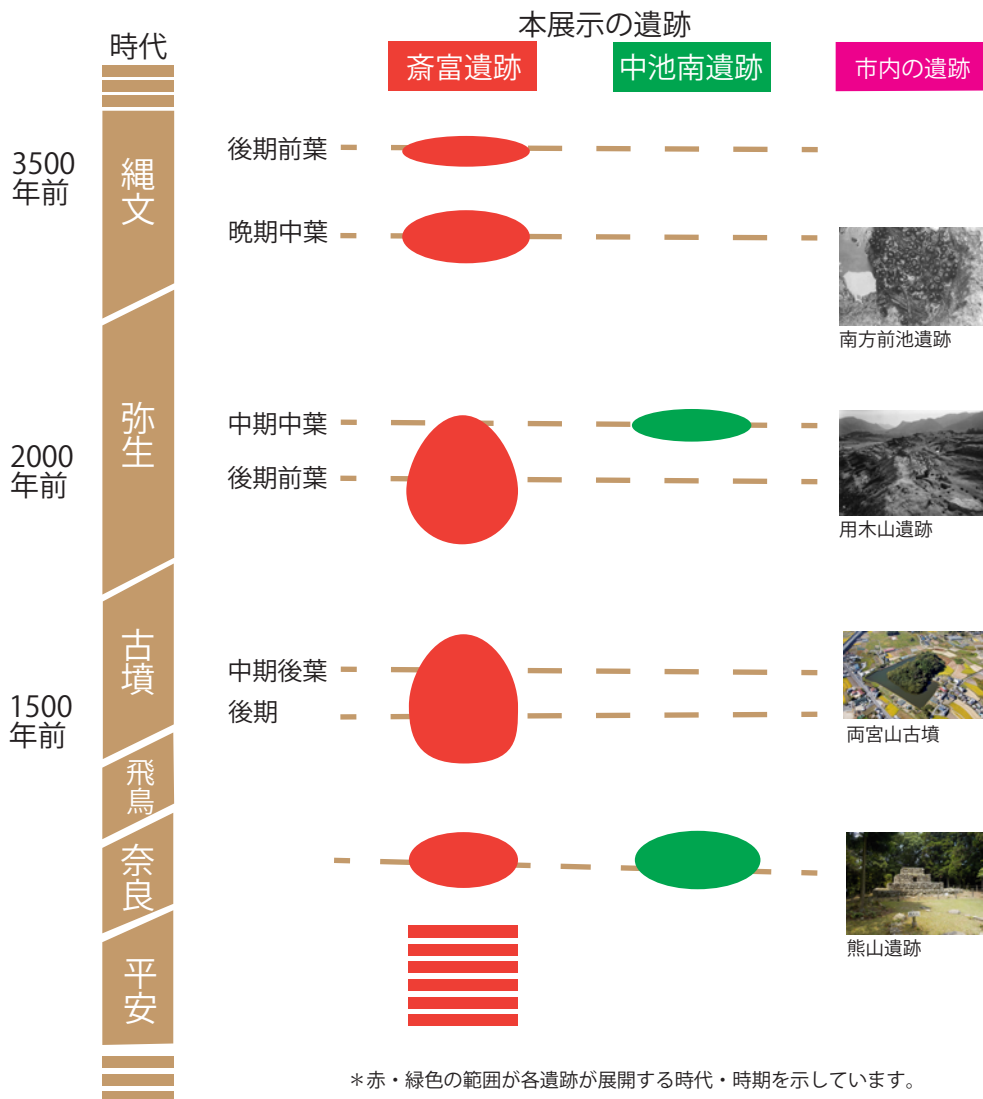


かくはいがた 角杯形土器 写真提供：岡山県古代吉備文化財センター



そろばんだまがたどせいぼうすいしゃ 算盤玉形土製紡錘車 写真提供：津山郷土博物館 所蔵：岡山県古代吉備文化財センター

山陽自動車道建設時の発掘（約30年前）で出土した朝鮮半島系遺物



齋富遺跡・中池南遺跡の変遷

1 住み始めた人々

斎富遺跡からは、縄文時代後期前葉^{ぜんよう}の土器が見つかり、今から約 3500 年以上前に人々が暮らし始めたことがわかります。市内に人々が住み始めた最も古い例のひとつです。

遺跡縁辺の河道からは晩期中葉^{ばんきちゅうよう}の土器が出土し、縄文人の営みが認められます。



縄文土器が出土した河道 斎富遺跡1C区



縄文土器（深鉢） 晩期中葉



サヌカイト製石鏃

2 竪穴住居の暮らし

斎富遺跡では弥生時代後期、今から約 2000 年前に集落が拡大し、人々は円形や隅丸方形^{すみまる たてあなじゅうきよ}の竪穴住居に暮らししました。石包丁^{いしほうちよう}などの石器や青銅製の鏃^{やじり}が見つかりました。

また、河道には木杭^{きぐい}を打ち込み、護岸^{ごがん}を行った痕跡^{こんせき}があり、弥生人のムラづくりの様子がうかがえます。



弥生時代後期の円形住居 斎富遺跡 3A 区



弥生土器（台付鉢） 後期



弥生土器（高杯） 後期



銅鏃 後期

3 鉄づくりの集落

古墳時代終わり頃、人々は平地式の建物に住むようになりました。斎富遺跡からは掘立柱建物が多く検出されました。

この頃、集落では鉄を生産し、鉄器などをつくっていました。鉄づくりの際に出る鉄滓や炉壁、てっさい ろへき 空気を送るふいごの羽口はぐちが出土しました。



炉壁の出土状況



2×3間の総柱建物 斎富遺跡 3E区



ふいごの羽口の出土状況

4 奈良時代の営み

奈良時代の掘立柱建物は、しんぼく 真北を向いて整然と建ち並びます。中池南遺跡では奈良時代の建物や作業空間が見つかっており、2×3間けんの掘立柱建物は一辺60～70cmの隅丸方形の柱穴で構成されています。

また、斎富遺跡の集落縁辺の溝2条は、約2.5m間隔で平行して東西方向に延びることから、道路状の遺構と考えられます。



須恵器・土師器の出土状況
中池南遺跡 2区



2×3間の側柱建物 中池南遺跡 2区



東西に延びる道路状遺構 斎富遺跡 1C区

5 渡来人はどこへ

30年前の発掘調査では朝鮮半島とのつながりが認められる遺構や遺物が見つかりました。今回の調査ではどうだったのでしょうか。

斎富遺跡からは朝鮮半島でよく使われたこしき なべや鍋の把手に溝を切った有溝把手とって ゆうこうが出土しました。今のところ、それ以外に明確に朝鮮半島とのつながりを示すものは見つかっていません。集落の中心が山陽自動車道側だったのでしょうか。今後の出土品の整理にご期待ください。



有溝把手



斎富遺跡全景（西から）

斎富遺跡・中池南遺跡発掘調査速報展「私の田んぼの下のムラ」 出品目録

1 住み始めた人々

遺跡名	資料名	年代	点数	
斎富遺跡	1C区	縄文土器 深鉢	縄文時代後期前葉	1
		縄文土器 浅鉢	縄文時代晩期中葉	2
		縄文土器 深鉢	縄文時代晩期中葉	1
		石鏃	縄文～弥生時代	3

2 竪穴住居の暮らし

斎富遺跡	1C区	木杭	弥生時代	3
	3B区	弥生土器 高杯	弥生時代後期後葉	1
		弥生土器 台付鉢	弥生時代後期	1
	3C区	弥生土器 鉢	弥生時代後期	1
		弥生土器 壺	弥生時代後期	1
	1B・3B区	銅鏃	弥生時代後期	2
	3A区	分銅形土製品	弥生時代後期	1
確認調査	管玉	古墳時代	1	

3 鉄づくりの集落

遺跡名	資料名	年代	点数	
斎富遺跡	3C区	炉壁	古墳時代後期(6世紀末～7世紀前半)	5
		ふいごの羽口	古墳時代後期(6世紀末～7世紀前半)	1
		砥石	古墳時代	1
	3D区	須恵器 甕	古墳時代後期(6世紀末～7世紀前半)	1
		須恵器 高杯	古墳時代後期(6世紀末～7世紀前半)	1
	3B区	土師器 甕	古墳時代	1

4 奈良時代の営み

中池南遺跡	2区	須恵器 杯蓋	奈良時代	4
		土師器 杯	奈良時代	2
		土師器 杯蓋	奈良時代	1

5 渡来人はどこへ

斎富遺跡	-	土師器 有溝把手	古墳時代	3
	3B区	須恵器 把手付椀	古墳時代中期	1
	3B区	埴	古墳時代	1